

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和7年5月12日(2025.5.12)

【公開番号】特開2025-41860(P2025-41860A)
 【公開日】令和7年3月26日(2025.3.26)
 【年通号数】公開公報(特許)2025-054
 【出願番号】特願2024-228442(P2024-228442)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1 9 / 1 5 9 (2 0 1 4 . 0 1)

H 0 4 N 1 9 / 1 6 9 (2 0 1 4 . 0 1)

H 0 4 N 1 9 / 7 0 (2 0 1 4 . 0 1)

10

【 F I 】

H 0 4 N 1 9 / 1 5 9

H 0 4 N 1 9 / 1 6 9 2 0 0

H 0 4 N 1 9 / 7 0

【手続補正書】

【提出日】令和7年4月30日(2025.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つのプロセッサにより実行される方法であって：

コード化ピクチャの第1のスライスの第1のビデオ・コーディング・レイヤ(VCL)ネットワーク抽象レイヤ(NAL)ユニットと、前記コード化ピクチャの第2のスライスの第2のVCL NALユニットと、混合フラグを含むビデオ・データを受信するステップと；

30

前記混合フラグの値に基づいて、前記第1のスライスの第1のVCL NALユニットのタイプと、前記第2のスライスの第2のVCL NALユニットのタイプとを判別し、前記コード化ピクチャを復号化するステップと；

を含み、前記混合フラグの値が所定値に等しいことは、前記第1のVCL NALユニットのタイプが、イントラ・ランダム・アクセス・ポイント(IRAP)ピクチャを示し、前記第2のVCL NALユニットのタイプが、ステップ・ワイズ・テンポラル・サブレイヤ・アクセス(STSA)ピクチャではない非IRAPピクチャを示す、方法。

【請求項2】

請求項1に記載の方法において、前記混合フラグの値が別の所定値に等しいことは、前記第1のVCL NALユニットのタイプが、前記第2のVCL NALユニットのタイプと同じであることを示す、方法。

40

【請求項3】

請求項1に記載の方法において、前記混合フラグの値が所定値に等しい場合、前記第1のVCL NALユニットのタイプは、即時復号化リフレッシュ(IDR)ピクチャ又はクリーン・ランダム・アクセス(CRA)ピクチャを示す、方法。

【請求項4】

請求項1に記載の方法において、前記混合フラグの値が所定値に等しい場合、前記第2のVCL NALユニットのタイプは、ランダム・アクセス復号可能リーディング(RADL)ピクチャを示す、方法。

【請求項5】

50

請求項1に記載の方法において、前記混合フラグの値が所定値に等しい場合、前記第2のVCL NALユニットのタイプは、トレーリング (TRAIL) ピクチャ又は漸進的復号化リフレッシュ (GDR) ピクチャを示す、方法。

【請求項6】

請求項1に記載の方法において、前記混合フラグは、ピクチャ・ヘッダ又はスライス・ヘッダに含まれている、方法。

【請求項7】

請求項1に記載の方法において、前記第1のスライスの第1のVCL NALユニットのタイプは、第1の“nal_unit_type”シンタックス要素により示され、前記第2のスライスの第2のVCL NALユニットのタイプは、第2の“nal_unit_type”シンタックス要素により示され、

前記混合フラグは、“mixed_nalu_types_in_pic_flag”シンタックス要素により示され、前記所定値は1である、方法。

【請求項8】

請求項1-7のうちの何れか一項に記載の方法を前記少なくとも1つのプロセッサに実行させるコンピュータ・プログラム。

【請求項9】

少なくとも1つのプロセッサにより実行される方法であって：

ビデオ・データに含まれるピクチャの第1のスライスの第1のビデオ・コーディング・レイヤ (VCL) ネットワーク抽象レイヤ (NAL) ユニットと、前記ビデオ・データに含まれる前記ピクチャの第2のスライスの第2のVCL NALユニットとを生成するステップと；

前記第1のVCL NALユニットのタイプが、イントラ・ランダム・アクセス・ポイント (IRAP) ピクチャを示し、前記第2のVCL NALユニットのタイプが、ステップ・ワイズ・テンポラル・サブレイヤ・アクセス (STSA) ピクチャではない非IRAPピクチャを示す場合に、混合フラグの値を所定値に設定する一方、前記第1のVCL NALユニットのタイプが、前記第2のVCL NALユニットのタイプと同じである場合に、前記混合フラグの値を別の所定値に設定するステップと；

前記ビデオ・データを復号化するデコーダへ、前記混合フラグをシグナリングするステップと；

を含む、方法。

【請求項10】

少なくとも1つのプロセッサにより実行される方法であって：

ビデオ・データに含まれるピクチャの第1のスライスの第1のビデオ・コーディング・レイヤ (VCL) ネットワーク抽象レイヤ (NAL) ユニットと、前記ビデオ・データに含まれる前記ピクチャの第2のスライスの第2のVCL NALユニットとを生成するステップと；

前記第1のVCL NALユニットのタイプが、イントラ・ランダム・アクセス・ポイント (IRAP) ピクチャを示し、前記第2のVCL NALユニットのタイプが、ステップ・ワイズ・テンポラル・サブレイヤ・アクセス (STSA) ピクチャではない非IRAPピクチャを示す場合に、混合フラグの値を所定値に設定する一方、前記第1のVCL NALユニットのタイプが、前記第2のVCL NALユニットのタイプと同じである場合に、前記混合フラグの値を別の所定値に設定するステップと；

前記第1のVCL NALユニットと、前記第2のVCL NALユニットと、前記混合フラグを含むビデオ・データを、コーディングされたビットストリームとしてデコーダへ送信するステップと；

を含む、方法。

20

30

40

50